

内閣総理大臣 鳩山 由紀夫殿
文部科学大臣 川端 達夫殿

「女性研究者支援システム改革」の縮減なき継続、拡充に関する要望書

行政刷新会議事業仕分けにより、1/3縮減された女性研究者支援システム改革事業について、私たちは、下記事由により、縮減なき事業継続と、さらなる拡充を強く要望するものです。

科学技術創造立国としての我が国の将来を考える時、多様な人材の活用による科学技術イノベーションの創造と持続的発展は最重要課題ですが、日本における女性研究者の比率は13%でありOECD加盟国中で最下位です。そのため、女性研究者の能力発揮・活躍促進を目指した国策が強く望まれています。これを受けて、第3期科学技術基本計画の中では女性研究者の活躍促進が謳われ、採用目標として自然科学系において25%が掲げられています。

出産・育児等と仕事の両立困難は研究者に限ったことではありません。しかし、資源に恵まれないだけでなく、少子化社会に向かう我が国は人的資源の発掘と経済力の維持のために、科学技術分野における女性の活躍促進によって、明るい未来を実現しなければなりません。研究者の仕事は、独創性に基づくものであり、ワークシェアでは解決できません。そのため、平成18年度より科学技術振興調整費事業として女性研究者支援システム改革事業が開始されました。10大学で始まった事業は、年ごとに新たな採択機関が加わり、点から線へ、線から面へと、徐々に全国的な女性研究者支援ネットワークが形成されつつあります。しかし、私立大学や四国地方をはじめ、まだ支援が根付いていない機関・地域も少なくありません。若手研究者をはじめ研究者の流動性が増す中、支援拠点形成にとどまらず、どこにいても女性であるということをハンディにせず活躍できる環境を整備していくことが重要であり、今後も支援の普及・拡充に努めていくことが肝要と考えます。

女性研究者の活躍環境整備を主体とする「女性研究者支援モデル育成プログラム」については、本年度までに採択機関45を数え、他機関へのモデルとなる事業例としては充足しつつあります。これまでの採択機関においても、振興調整費事業に応募・採択されることで、男女共同参画の理念を行動に移せたのであり、当初よりシステム改革の「呼び水」として用意された科学技術振興調整費は十分にその役割を果たしてきております。しかし、その必要性はなお高く、今後も我が国の科学技術推進の中で大きな役割を果たしていくことが期待されます。実践を伴った女性研究者支援の経験・視点から、広く研究人材育成の方策・方向性が見えてきており、研究者養成の場におけるシステム改革は、女性に限らず全ての研究者が生き生きと活躍できる環境の構築に繋がるものです。

今年度から立ち上がった「女性研究者養成システム改革加速プログラム」による女性研究者採用促進も、人件費負担軽減ポジティブアクションにより女性研究者の採用・組織への定着を促進するものであり、モデル育成事業と同じく「呼び水」としての大きな役割をもっています。モデル育成プログラムの基で整備された環境の下で、それぞれの機関・組織が躊躇なく女性研究者を採用することが、公募人事への女性の応募が増加することに繋がり、女性研究者の採用率の上昇を目指す機関・組織と女性研究者の両者にとって、「正のスパイラル」として大きな相乗効果があると考えます。ともすれば男性への逆差別につながるとして懸念されがちな女性採用に対するポジティブアクションは、現状では厳然と存在する選考・採用過程ならびに応募段階での男女格差を無くして正常な状態に近づけるための経過措置です（詳しくは2008年7月24日付け日本学術会議からの提言「学術分野における男女共同参画促進のために」をご参照下さい）。

以上、女性研究者の活躍を促進する支援システム改革事業は、我が国の科学技術振興にとって大きな持続的活力となる重要な事業であり、適切かつ十分な予算配分を強く要望するものです。

発起人

郷通子（前お茶の水女子大学長）、小舘香椎子（日本女子大学名誉教授）、都河明子（東京大学特任教授）、稲葉カヨ（京都大学教授・理事補）、有賀早苗（北海道大学教授・副理事）、大隅典子（東北大学教授・総長特別補佐）、水田祥代（九州大学理事・副学長）、伊賀健一（東京工業大学学長）、田島節子（大阪大学教授）、東村博子（名古屋大学准教授・総長特別補佐）、坂東昌子（愛知大学名誉教授）、相馬芳枝（神戸大学特別顧問）、宮浦千里（東京農工大教授・学長補佐）、相田美砂子（広島大学教授・副理事）、船橋恵子（静岡大学副学長）、小川眞里子（三重大学教授・学長補佐）、小松美英子（富山大学教授）、北川慶子（佐賀大学教授）、富崎松代（奈良女子大学教授）、五十嵐由利子（新潟大学教授）、森 恵美（千葉大学教授）、大島範子（東邦大学教授）、布下正宏（奈良先端科学技術大学院大学特任教授）、八重澤美知子（金沢大学教授）、渡辺育子（秋田大学教授・学長補佐）、小島秀子（愛媛大学教授）、岸田光代（熊本大学准教授）、澤田美智子（産業技術総合研究所）、金指あや子（森林総合研究所）、平野敏幸（物質・材料研究機構）、岡田浩明（農業環境技術研究所）、大坪久子（日本大学教授）、高橋裕子（津田塾大学・学長特別補佐）、太田喜久子（慶應義塾大学教授）、門間美千子（農業・食品産業技術総合研究機構）

（賛同表明順）

添 付：川端 達夫文部科学大臣宛 署名数 124名